




殺し屋

忘却街

act.6

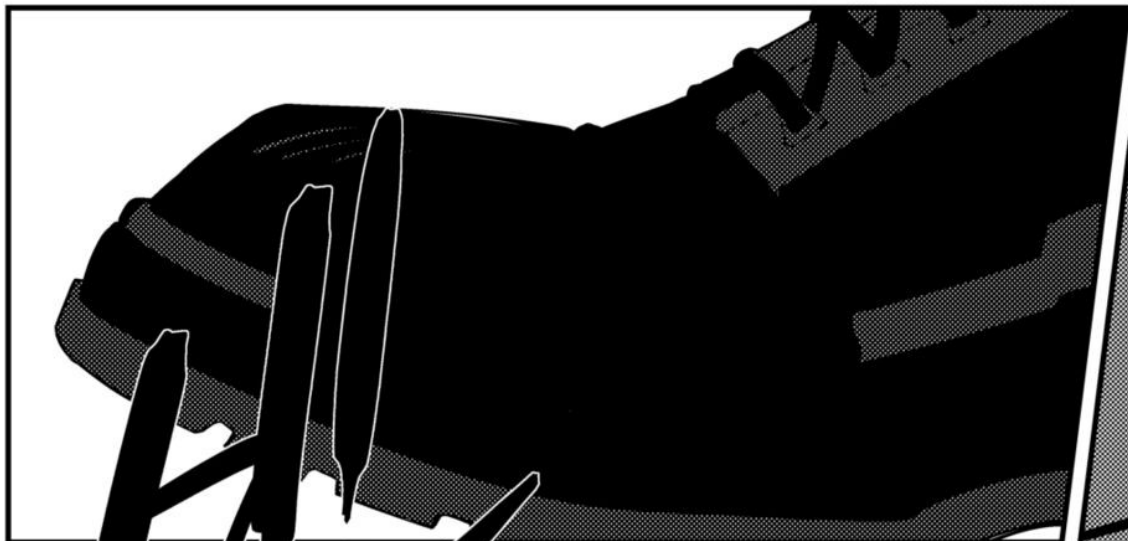
Murderers
in the
lost city
act.6

ATTE
Adult only



Murderers
in the
lost city
act.6

"Ruler"







そうか



「もうすぐ」か……



そりやてめえの
頭が潰れるよりも
「すぐ」か？



うるさいよなア……
すぐに黙らせるから
待ってろ



……ッ

ああ 悪い

驚かせたか



ああ
イカレウサギさん!

私の部下を
いじめるのは
よしてくれ



——この怒り方は

あのときと同じだ

俺が逃げ出そうと
したときの

自分のルールを
破られたときの

でも



あの時、俺は
手加減
されてたんだ!

やあ!



はじめまして
私はキア

この街の……
町長さんって
ところかな?

ペットくんも
よく来てくれたね





君があれ以来
すっかり私の電話に
出てくれないから
さみしかったな



えっ



そんな顔
しなくたって

君のお気に入りを
リストに載せたり
しないよ、ゼオ?

何の用で

バレてた……
ってこと、かな……?

……

どかっ
どかっ





痛...

またエドに吐かせたな

いやいや、

ペット君の痕跡を見つけたのは私の部下だよ



まあエドくんにも少しお話は聞かせてもらったけど

君がランドリーを使うのは珍しいからね

いやいや、
ペット君の痕跡を見つけたのは私の部下だよ



あれに何をした

何も? 紳士的に尋ねただけさ

いやいや、



君のつくる
死体の処理と



気になるなら彼の生存も
交換条件に追加すればいい



縄張りへの不干渉

食料及び
生活必需品の提供

死体……は
ともかく

食料とかまで
この人が
管理してるのか

ハッ

ハッ

ハッ



それと引き換えに
君はこちらの
「呼び出し」に答えて

フッ……



私のお願いを聞いてくれる。

お互い義務はきちんと果たさないとね

すい

たざ

たざ



まさか
こんな展開に
なるとは思って
なかったけど
……



こおらペット君

ご主人様のお仕事姿、きちんと見てないとダメじゃないか

れろ

まあこの際俺に被害が及ばないならなんでも……

なんだかえらいヒト
みたいだし
逆らわない方が
いいんだろうな

しほ

しほ

HUN



ペット君も
してもらったことが
あるんじゃないのかい

……やるなら
さっさと
終わらせろ

影除けの
臭い付け……



つれないなあ

めちやくちや
イライラしてる……



いつもより余裕が
ないみたいだ



ね、イカレウサギさん

これとペット君のご奉仕、どっちが好き？

どっちが気持ちいい？

NO
Yes

えなに
……何!?

ペット君はどう思う……？

痛い……!

比っくこしようよ



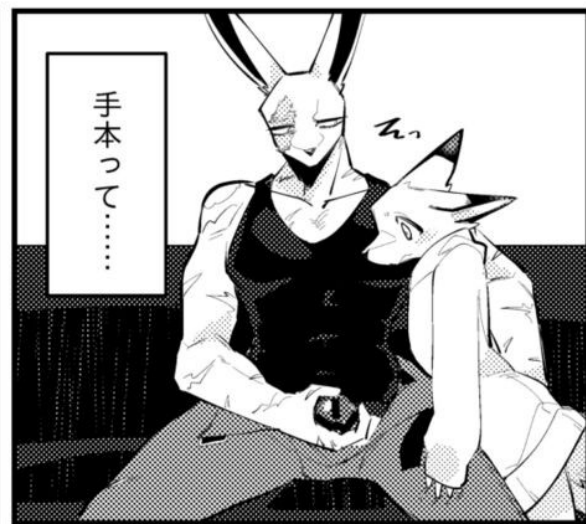
何を勘違い
してるか知らんが

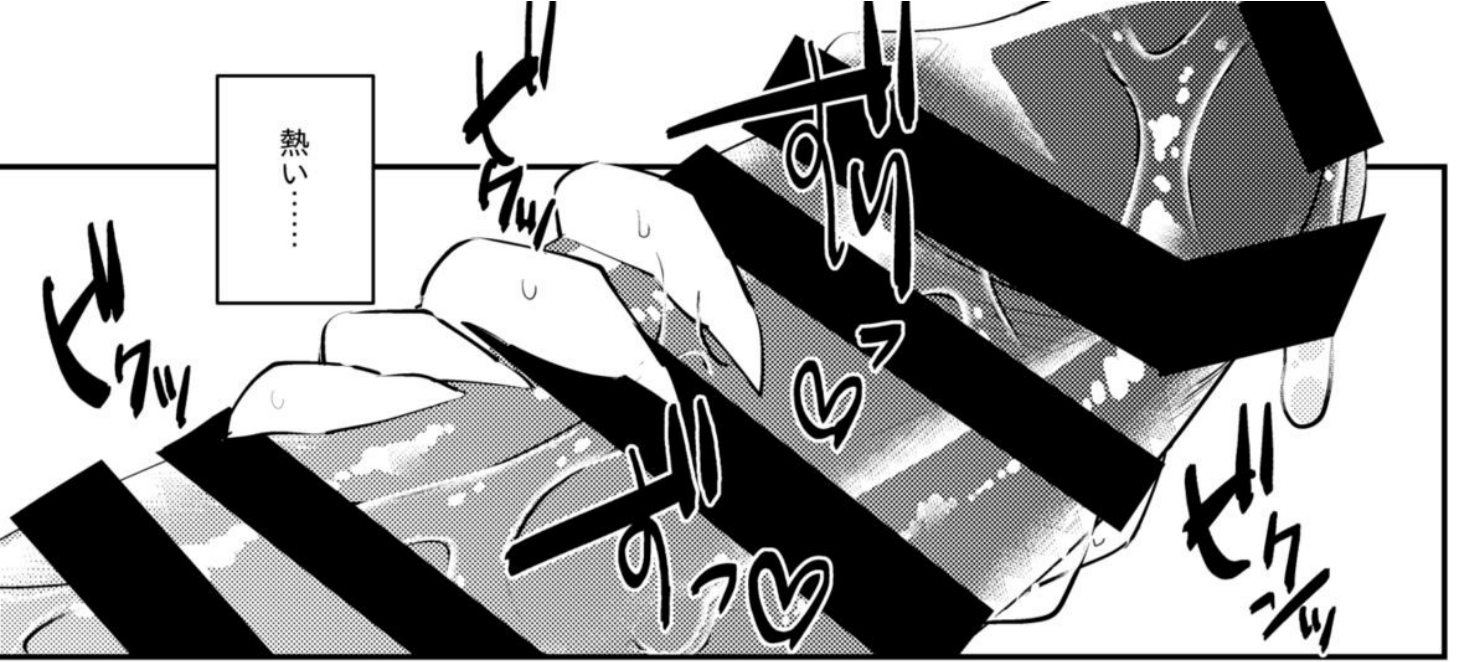
俺はてめえらに
脅されてこんなことを
してんじゃねえ

てめえらの支配者ごっこに
付き合ってるんだ

それが分かったら

二度と俺のものに触るな





熱い……



こん



他の人がいるところで
させられるのは

……その、
恥ずかしいけど……



とにかくこの人の
言うとおりにさえ
しておけば

少なくとも
痛い思いはしない

……



……
この人とは違って



何だその目



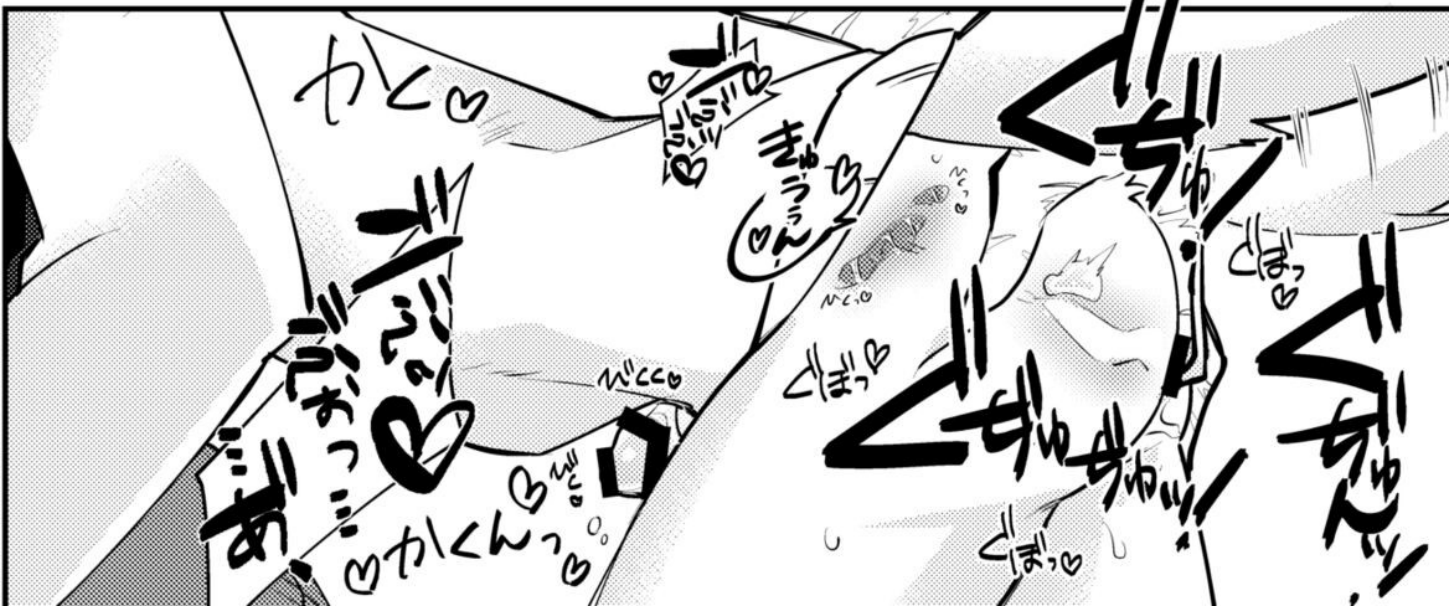
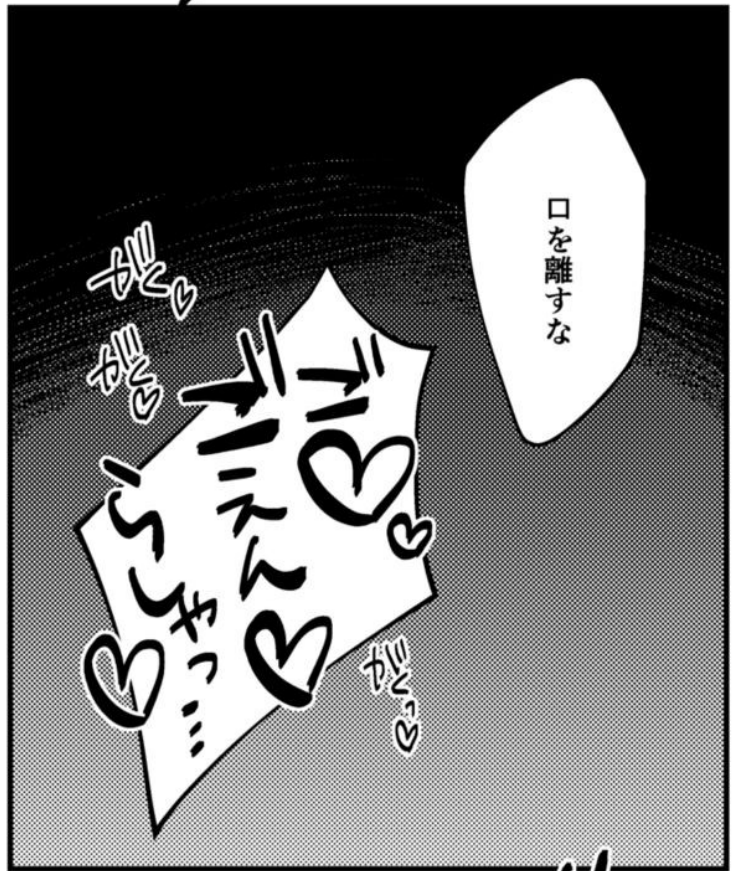
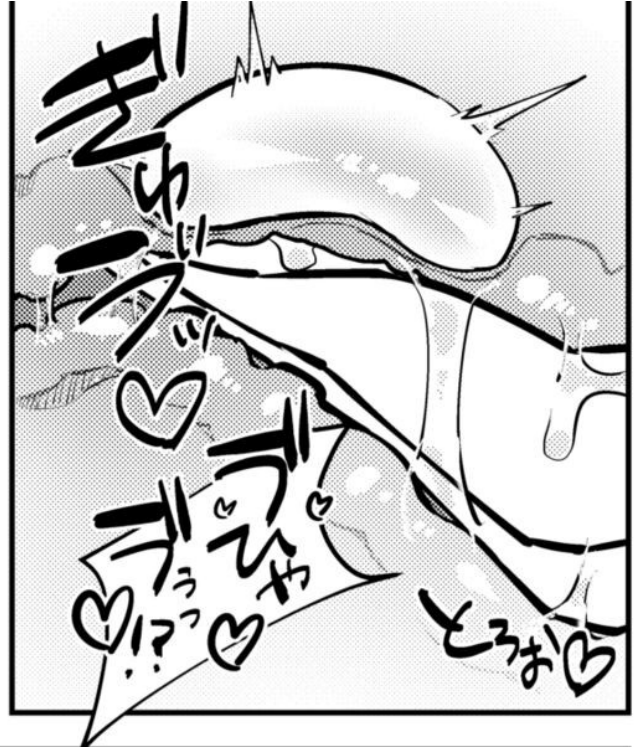
文句があるなら
聞いてやろうか



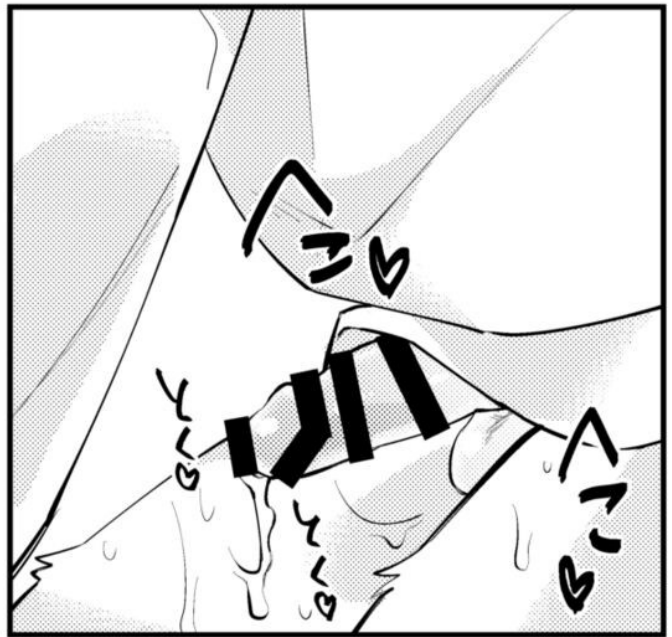
悪いことをして
ゼオさんに
怒られたりしないんだ

……おれは
いい子だから♡











よくできたな

おはっ

はっ

はっ

はっ

おはっ



.....
じゃあ行くか

お願ひも
聞かやせじ

えっ
あの



もう帰って
いいんですか.....?

ん?

おはっ



おはっ

ああ まあ
その前に.....

待ちなさい

まだ帰らせる
わけにはいかないよ

まだ君には
用があるんだ、
この後の浸水区との
談合に――

こっちにも
急用ができた

そっちを
済ませてからだ

は!?

おい、非常階段は
こっちでいいのか?

ちよつと待ッ――

見たいものは
見ただろうが



あの

俺、その、結構
とんでもないことを……

おまえは
今日よくやった

そんな顔を
する必要はない



よかったですか？

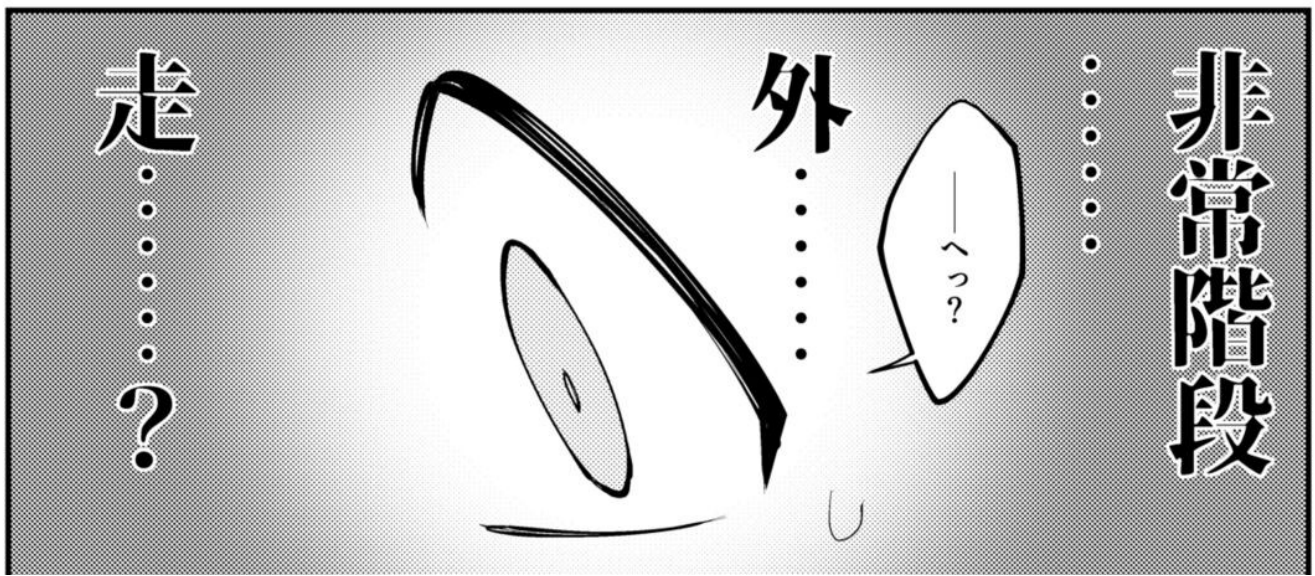
俺はな



うわっ
来た時より
霧が濃い……

それより今から急ぎで
走るから口閉じてろ

はあ



非常階段

へっ？

外

走

……？



よお

生きてるな



……言いたいことは
色々ありますが

「人の家を訪ねるときは
ドアを蹴りつけるのではなく
呼び鈴を押すものだ」と
教えてあげませんでしたか？

——キア様
お怪我は……

あってもすぐ治るさ
この街では……
厄介な呪いだよ

あのときはよく
我慢してくれたね、
二人とも

しかしあの存在は
本当に興味深い

想像以上の収穫だ、
身体を張った甲斐が
あるというものだよ

実に面白いこと
なりそうだ



「忘却街の人殺したち act.6」

発行日:2021.09.20

発行:サバカンロッタリー/式一

連絡先:sablot@sablot.com

印刷:  SUN GROUP

<http://www.sun-group.co.jp/>

この作品はフィクションであり、
実在する人物・地名・団体とは一切関係ありません。

本誌の無断転載・複写・複製、
ネット上へのアップロードを禁じます。
また、ネットオークション、フリマアプリ等への
出品・転売はご遠慮ください。

Do NOT upload this work on any website.
禁止转载、复制、修改或将本作品上传到互联网。

Twitter @ni_c

https://twitter.com/ni_c

Pixiv 7925258

http://pixiv.me/ni_c


Fanbox

<https://www.pixiv.net/fanbox/creator/7925258>

感想フォーム

https://odaibako.net/u/ni_c





Murderers
in the
lost city

2021.09.20

2021.09.20